

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 25 年 11 月 21 日 (2013.11.21)

【公開番号】特開 2012-188500 (P2012-188500A)  
 【公開日】平成 24 年 10 月 4 日 (2012.10.4)  
 【年通号数】公開・登録公報 2012-040  
 【出願番号】特願 2011-51708 (P2011-51708)  
 【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/04 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 133/04

C 0 9 J 11/04

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 10 月 8 日 (2013.10.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次の成分 (A) ~ (D)

(A) アクリレート系モノマー

(B) (A) と共重合可能なモノマー

(C) 光重合開始剤

(D) 光架橋剤

を含有する樹脂組成物と無機フィラーとを含有する粘着剤組成物がシート状に硬化した両面粘着テープであって、無機フィラーは平均粒子径 30  $\mu$ m 以下であり、テープの片面側に偏在し、

無機フィラーが偏在している側のテープ面の表面粗さ (中心線平均粗さ Ra) が 0.01 ~ 0.50  $\mu$ m である両面粘着テープ。

【請求項 2】

粘着剤組成物が、樹脂組成物 100 質量部に対して無機フィラー 100 ~ 500 質量部を含有する請求項 1 記載の両面粘着テープ。

【請求項 3】

成分 (A) のアクリレート系モノマーと、成分 (B) の (A) と共重合可能なモノマーとの配合割合が、成分 (A) 100 質量部に対して成分 (B) を 1 ~ 20 質量部である請求項 1 又は 2 記載の両面粘着テープ。

【請求項 4】

樹脂組成物の粘度が 500 ~ 3500 mPa・sec (B 型粘度計、ロータ No. 3、20 rpm、25 ) である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項 5】

樹脂組成物と無機フィラーとの配合割合が、樹脂組成物 100 質量部に対して無機フィラーを 100 ~ 500 質量部である請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項 6】

成分（Ａ）のアクリレート系モノマーが、ブチル（メタ）アクリレート、イソアミル（メタ）アクリレート、２－エチルヘキシル（メタ）アクリレート、ノニル（メタ）アクリレート、イソノニル（メタ）アクリレート、イソオクチル（メタ）アクリレート、ラウリル（メタ）アクリレート、又はデシル（メタ）アクリレートである請求項１～５のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項７】

成分（Ｂ）の（Ａ）と共重合可能なモノマーが、（メタ）アクリル酸、Ｎ－ビニルピロリドン、イタコン酸、テトラヒドロフルフリルアクリレート、エチル（メタ）アクリレート、２－ヒドロキシエチル（メタ）アクリレート、２－ヒドロキシプロピル（メタ）アクリレート、イソボニル（メタ）アクリレート、エトキシエチル（メタ）アクリレート、ブトキシエチル（メタ）アクリレート、フェノキシエチル（メタ）アクリレート、フェニル（メタ）アクリレート、又はシクロヘキシル（メタ）アクリレートである請求項１～６のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項８】

成分（Ｃ）の光重合開始剤が、４－フェノキシジシクロアセトフェノン、４－ｔ－ブチル－ジクロロアセトフェノン、ジフェノキシアセトフェノン、２－ヒドロキシ－２－メチル－１－フェニルプロパン－１－オン、１－ヒドロキシシクロヘキシルフェニルケトン、ベンゾイン、ベンゾインメチルエーテル、ベンゾインイソブチルエーテル、又はベンジルメチルケタールである請求項１～７のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項９】

成分（Ｄ）の光架橋剤が、多官能（メタ）アクリレートである請求項１～８のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項１０】

更に、次の成分（Ｅ）

（Ｅ）タッキーファイヤー

を含有する請求項１～９のいずれかに記載の両面粘着テープ。

【請求項１１】

成分（Ｅ）のタッキーファイヤーが、ロジン系タッキーファイヤー、テルペン系タッキーファイヤー、又はテルペンフェノール系タッキーファイヤーである請求項１０に記載の両面粘着テープ。

【請求項１２】

次の成分（Ａ）～（Ｄ）

（Ａ）アクリレート系モノマー

（Ｂ）（Ａ）と共重合可能なモノマー

（Ｃ）光重合開始剤

（Ｄ）光架橋剤

を含有する樹脂組成物と平均粒子径 $30\mu\text{m}$ 以下の無機フィラーとを含有する粘着剤組成物を、表面粗さ（中心線平均粗さ $R_a$ ） $0.01\sim0.50\mu\text{m}$ の剥離シート上に塗布し、粘着剤組成物を光硬化させる両面粘着テープの製造方法。

【請求項１３】

粘着剤組成物を剥離シート上に塗布後３秒以上において粘着剤組成物を光硬化させる請求項１２記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項１４】

粘着剤組成物が、樹脂組成物１００質量部に対して無機フィラー１００～５００質量部を含有する請求項１２又は１３記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項１５】

成分（Ａ）のアクリレート系モノマーと、成分（Ｂ）の（Ａ）と共重合可能なモノマーとの配合割合が、成分（Ａ）１００質量部に対して成分（Ｂ）を１～２０質量部である請求項１２～１４のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項１６】

樹脂組成物の粘度が500～3500mPa・sec(B型粘度計、ロータNo.3、20rpm、25℃)である請求項12～15のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項17】

樹脂組成物と無機フィラーとの配合割合が、樹脂組成物100質量部に対して無機フィラーを100～500質量部である請求項12～16のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項18】

成分(A)のアクリレート系モノマーが、ブチル(メタ)アクリレート、イソアミル(メタ)アクリレート、2-エチルヘキシル(メタ)アクリレート、ノニル(メタ)アクリレート、イソノニル(メタ)アクリレート、イソオクチル(メタ)アクリレート、ラウリル(メタ)アクリレート、又はデシル(メタ)アクリレートである請求項12～17のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項19】

成分(B)の(A)と共重合可能なモノマーが、(メタ)アクリル酸、N-ビニルピリドン、イタコン酸、テトラヒドロフルフリルアクリレート、エチル(メタ)アクリレート、2-ヒドロキシエチル(メタ)アクリレート、2-ヒドロキシプロピル(メタ)アクリレート、イソボニル(メタ)アクリレート、エトキシエチル(メタ)アクリレート、ブトキシエチル(メタ)アクリレート、フェノキシエチル(メタ)アクリレート、フェニル(メタ)アクリレート、又はシクロヘキシル(メタ)アクリレートである請求項12～18のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項20】

成分(C)の光重合開始剤が、4-フェノキシジシクロアセトフェノン、4-t-ブチル-ジシクロアセトフェノン、ジフェノキシアセトフェノン、2-ヒドロキシ-2-メチル-1-フェニルプロパン-1-オン、1-ヒドロキシシクロヘキシルフェニルケトン、ベンゾイン、ベンゾインメチルエーテル、ベンゾインイソブチルエーテル、又はベンジルメチルケタールである請求項12～19のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項21】

成分(D)の光架橋剤が、多官能(メタ)アクリレートである請求項12～20のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項22】

樹脂組成物が、更に次の成分(E)

(E) タッキーファイヤー

を含有する請求項12～21のいずれかに記載の両面粘着テープの製造方法。

【請求項23】

成分(E)のタッキーファイヤーが、ロジン系タッキーファイヤー、テルペン系タッキーファイヤー、又はテルペンフェノール系タッキーファイヤーである請求項22記載の両面粘着テープの製造方法。